

## 建設観光委員会会議録

1. 日 時 平成23年6月17日(金曜日)  
午前9時30分～午前9時50分
2. 場 所 委員会室
3. 出席委員 馬屋原 眞 一 委員長 萬代 泰 生 副委員長  
河村 淳 委 員 村上 健 二 委 員  
下井 克己 委 員 岩本 明 央 委 員  
有道 典 広 委 員 秋山 哲 朗 議 長
4. 欠席委員 田邊 諄 祐 委 員
5. 欠 員 1名
6. 出席した事務局職員  
重村 暢 之 議会事務局長 岩崎 敏 行 議会事務局主査  
岡崎 基 代 議会事務局主査
7. 説明のため出席した者の職氏名  
村田 弘 司 市 長 林 繁 美 副 市 長  
伊藤 康 文 建設経済部長 秋 枝 秀 稔 建設経済部次長  
前野 兼 治 建設経済部建設課長 西 田 良 平 建設経済部農林課長  
刀 禰 義 次 美東総合支所建設経済課長 秋 山 芳 幸 秋芳総合支所建設経済課長  
福 田 和 司 総合観光部長 大 野 義 昭 総合観光部観光総務課長  
綿 谷 敦 朗 総合観光部観光振興課長 坂 田 文 和 消 防 長  
田 畑 龍 男 消防本部次長 西 岡 博 和 消防本部警防課長  
柴 崎 隆 博 消防本部予防課長

午前9時30分開会

委員長（馬屋原眞一君） おはようございます。只今より建設観光委員会を開会いたします。先の本会議において、本委員会に付託されました議案1件につきまして、審議いたしたいと思っておりますので、ご協力をよろしくお願いいたします。市長さん何かご報告等ございませんか。

市長（村田弘司君） ございません。よろしく申し上げます。

委員長（馬屋原眞一君） 議長さんございませんか。

議長（秋山哲朗君） ありません。よろしく申し上げます。

委員長（馬屋原眞一君） それではこれより審査を始めます。議案第1号平成23年度美祢市一般会計補正予算（第5号）の本委員会所管事項について審査いたします。執行部より説明を求めます。西田農林課長。

建設経済部農林課長（西田良平君） それでは平成23年度美祢市一般会計補正予算（第5号）につきまして、補正予算資料に基づきましてご説明のほうさせていただきます。まず歳出のほうからご説明いたします。資料の1-12、13ページをお開き下さい。このページの最下段になります。6款農林費・1項農業費・目3農業振興費、負担金、補助及び交付金でございます。001農業振興経費について432万2,000円を増額補正し、総額2億1,676万4,000円とするものでございます。まず、やまぐち集落営農生産拡大事業補助金422万7,000円についてでございますが、これは県事業でございます。経営改善に取り組む集落営農法人が、産地の生産拡大を図るために計画に沿った共同利用機械を導入する際、補助金が交付されるものでございます。今回の対象法人は、美東町大田の農事組合法人ファーム岩波さんでございます。導入機械は飼料用米収穫調整機械でございます。これに係る事業費845万5,000円に対しまして、50%の422万7,000円を補助するものでございます。続きまして、その下になります。新規就農者農地確保支援事業補助金9万5,000円についてでございます。これは新規就農者の営農開始時、営農の負担軽減と農業経営の早期確立を支援するということが目的の事業でございます。事業の流れとしては、山口県のやまぐち農林振興公社が、土地所有者と新規就農者の仲介役となりまして、新規就農者が営農のために借り受けようとする土地を公社が借り受けまして、新規就農者に貸し付けるという仕組みでございます。このとき新規就農者の負担軽減のため初年度から5年間、

県と市で2分の1ずつその賃貸料を補助する事業ということになります。今回につきましては、秋芳町別府の永嶺さんで樹園地を借りることになりまして、年間の賃借料18万9,000円のうち市の持ち分としての50%、9万4,500円を補助するものでございます。

続きまして、歳入のほうのご説明をさせていただきます。資料の1 - 8ページをお開き下さい。3段目になります。15款県支出金・2項県補助金・目5農林費県補助金、農業費補助金について422万7,000円を増額補正するものでございます。これにつきましては、先程歳出でご説明しましたやまぐち集落営農生産拡大事業補助金の特定財源といたしまして、歳出と同額の県補助金を計上するものでございます。以上で説明を終わります。

委員長（馬屋原眞一君） 説明が終わりました。本案に対する質疑はございませんか。はい、岩本委員。

委員（岩本明央君） 先程の1 - 13ページ、これWCSの機械の購入ですね。ラッピングか何か。これは需用費が845万4,000円、説明があつて半分ほど補助するということですが、これWCSの対象面積は今年はどのくらい計画があるんですか。

委員長（馬屋原眞一君） 西田農林課長。

建設経済部農林課長（西田良平君） 今把握しておりませんので、調べた上でご報告させていただきます。

委員長（馬屋原眞一君） はい、岩本委員。

委員（岩本明央君） これは例の農業法人の桂岩の岩波と桂坂と両方で作られた農業法人ですね。

委員長（馬屋原眞一君） 秋枝建設経済部次長。

建設経済部次長（秋枝秀稔君） ファーム岩波でございまして、岩波地区でですね主に活動しておられます。以上です。

委員長（馬屋原眞一君） はい、岩本委員。

委員（岩本明央君） きょうはあれですか、当初予算書お持ちですか。当初予算書の213ページ、それで212もあるんですが、一番上、それから下から5行目、これに追加ということですね。

委員長（馬屋原眞一君） はい、西田農林課長。

建設経済部農林課長（西田良平君） 今回の補正につきましては、213ページの一番上段ですね。こちらのほうについての補正ということになります。

委員長（馬屋原眞一君） はい、岩本委員。

委員（岩本明央君） さっきの対象面積はまた後程お願いします。はい、OKです。

委員長（馬屋原眞一君） 他にございませんか。河村委員。

委員（河村 淳君） 今質問があったから余り重複してもいけないが、新規就農者農地確保支援事業というのは、だいたいどの程度の農業者の農地の面積があればその辺の該当になるものか、わかれば言ってくれ。

委員長（馬屋原眞一君） はい、西田農林課長。

建設経済部農林課長（西田良平君） この採択基準といたしましては面積ということは基本的には要件に入っておりませんで、新規就農者で3年以内、新規就農者となって3年以内の方ということになります。当然新規就農者になるための担い手協のほうで認定をするわけですけども、そちらのほうの計画を出していただくわけですけども、そちらのほうの計画書を見た上で新たに土地を借りるという計画をなされてる場合に、山口の振興公社のほうで土地を借りて頂くということになります。特に面積適用ということはありません。

委員（河村 淳君） 面積が関係ないということになると、一反でも五畝でも一畝でもなんぼでもええちゅうことか。そういうことになるんか。

委員長（馬屋原眞一君） はい、西田農林課長。

建設経済部農林課長（西田良平君） そういうことになりますが、今回の永嶺さんにつきましては、64アールをお借りするということになっております。（発言する者あり）六反ちょっとです。

委員長（馬屋原眞一君） 有道委員。

委員（有道典広君） ついでに今の新規就農、これ一人分か何人分か教えて下さい。一人ですか。（発言する者あり）はい、わかりました。

委員長（馬屋原眞一君） 萬代副委員長。

副委員長（萬代泰生君） 関連ですが、この新規就農支援事業に絡む農家の皆さんが、現在何人かそれをお尋ねしたいと思います。

委員長（馬屋原眞一君） はい、西田農林課長。

建設経済部農林課長（西田良平君） 本年度はお一人ということになりますが、平成20年度にお一人、それ以降で言いますと5名ということになります。

委員長（馬屋原眞一君） 他にございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（馬屋原眞一君） それでは本案に対するご意見はございませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（馬屋原眞一君） それではこれより議案第1号平成23年度美祢市一般会計補正予算（第5号）を採決いたします。

本案について原案のとおり決するにご異議ございませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

委員長（馬屋原眞一君） 全員異議なしと認めます。よって、本案は原案のとおり可決されました。

以上で、本委員会に付託されました議案1件につきまして審査を終了いたしました。その他委員の皆さんから何かございましたら、ご発言をお願いいたします。下井委員。

委員（下井克己君） 観光部の方にお聞きしたいのですが、この前の特別委員会で黒谷見たんですけど、その時に黒谷出入り口の正面に休憩所と言いますか、もともと公園みたいのがあって藤棚があったんですけど、その藤棚が確か今年の災害で確か壊れたというふうに私は記憶してる。昨年か一昨年はっきり忘れたんですけど、その藤棚の撤去なり改修なりかそれをどのように考えておられるのかお聞かせ願えますか。

委員長（馬屋原眞一君） 大野観光総務課長。

総合観光部観光総務課長（大野義昭君） ご指摘の黒谷出口の藤棚ですけど、2月に降りました大雪で、その重みに耐えかねて破損したというふうに記憶しております。藤棚に関しましては、ご存知のとおり自然公園法、あるいは文化財保護法の適用を受ける場所にありますので、今のデザイン、色等をそういった規制されてる法律をクリアするように、今検討しながら進めるようにしております。以上です。

委員長（馬屋原眞一君） はい、下井委員。

委員（下井克己君） その検討されるのは結構なんですけど、事前に撤去するということとはできないんですか。それが決まるまでは、できないわけですかね。

委員長（馬屋原眞一君） はい、大野観光総務課長。

総合観光部観光総務課長（大野義昭君） 撤去に関しましても、当初は検討はしておりますけど、やはり出口の一番、場所的に正面で一番いい場所で観光客の方が休まれるのに最適な場所ということで、できればそれを生かしておきたいというふうに考えておりますので、その方向です。

委員（下井克己君） そうじゃなくて撤去というのは、今の現状の壊れたまを洞から出たお客さんが見るわけですよ。それを先にのけるということができないかということです。ちょっと見苦しいような気がするんですけど、せっかく洞の中ずっと出られて黒谷出たときに、藤棚の壊れた鉄パイプですか、あれがぐにゃっとなってるのが見えるわけです。真正面に。

委員長（馬屋原眞一君） はい、大野観光総務課長。

総合観光部観光総務課長（大野義昭君） 今のご指摘されている鉄でできた棚なんですけど、いわれるようにちょっとその辺検討してみたいというふうに思います。

委員長（馬屋原眞一君） 他にございませんか。はい、萬代副委員長。

副委員長（萬代泰生君） きょうの毎日新聞に、修学旅行に農家民宿をという鹿児島県の出水市のことが載っております。美祢市の農業の活性化、あるいは観光の活性化、秋芳洞への集客方法等いろいろと皆さんも議論しておられるとは思いますが、農家民宿という状況が、今どのような状況にあるのか把握しておられればお尋ねしたいと思います。また今後農家民宿というこの手段についても、地域の農家にどのようにPRをされていこうと考えておられるのか、その二点についてお尋ねします。

委員長（馬屋原眞一君） 福田総合観光部長。

総合観光部長（福田和司君） 萬代委員のご質問にお答えをしたいと思います。一点目の現状でございますが、観光振興計画の中にも農家民宿も入れてですね、グリーンツーリズムを意識した修学旅行向けの商品の設定、こういったものの計画と言いますか振興計画なりに謳ってはおります。現在具体的にじゃあそれをどういう形で進めていくかというところでございますが、全国で新潟県、長野県あたりはそういった取り組みを10年前から行ってございまして、東京のほうの都市部の子どもたちを夏の時期に農家民宿をさせて、田舎の生活を味わせるということで成功しているNPO等もございます。そういった中で美祢の観光協会が現在立ち上げておりま

して、現在取り組んでおります地旅、こういったものですね絡めた形で商品として出せるのかということ、現在協会のほうとも協議をし始めたという状況でございます。一番の問題は受け入れ側の民泊をさせる農家の方、こういった民家の整理なり、受け入れ態勢の確保というのが非常に大切になってきますので、こういったものについては主には、どうしても美東地区、秋芳地区の秋吉台周辺の民家の方にご協力を頂かなくてはいけないということがございます。それと美東のごぼう、こういったものを体験で農作業と一緒にするというようなことが、美祢市の売りとして一つあるのかなと。それと梨の収穫なり受粉作業、こういったものをからめた民泊というものも、今後先程言いました地旅を含めた形をですね具体化させていきたいなというふうな考えは観光部としては持っております。おいおい具体的な策を検討させていただきたいというふうな状況でございます。以上です。

委員長（馬屋原眞一君） いいですか。萬代副委員長。

副委員長（萬代泰生君） 今、執行部のほうではいろいろと検討されておられるというふうに伺いました。やはり近年の農業者の高齢化によって、農家がだんだん疲弊してるということは先日来の一般質問でも多くの議員から質問等、提案等もあったと思うんですが、そういったことでやはり集落に少しでも何かしら光が入るようなやはり手立て、それも必要じゃないかなと。この修学旅行に農家民泊というこの方法も一つの手段じゃないかと思しますので、執行部のほうで、大いにまた農林課ともよう打ち合わせをしながら進めていって頂きたいということを要望して終わります。

委員長（馬屋原眞一君） 他にございませんか。はい、西田農林課長。

建設経済部農林課長（西田良平君） すいません。先程の岩本委員さんのご質問ですが、栽培面積2.5ヘクタールでございます。以上です。

委員長（馬屋原眞一君） ないようですので、これにて本委員会を閉会いたします。ご審査、ご協力誠にありがとうございました。お疲れ様でございました。

午前9時50分閉会

上会議の顛末を記載し、相違ないことを証するためここに署名する。

平成23年6月17日

建設観光委員長

馬屋原真一